IPPO IPPO IPPO

# 障がい者就労A　一歩

## パソコン等小型家電再資源化

## 社会的資源の循環へ

# 有価物資源のリサイクルが障がい者の仕事創出と賃金向上に直結

障がい者就労支援施設で使用済みパソコン等の電子機器（有価物資源）を回収。手作業での解体・分別(有価物リサイクル)が仕事創出に繋がります。更に、再源化できるものと出来ないものに適切に分別された金属スクラップや基板(レアメタル原石)を出荷・換金させる事で賃金(工賃)へと繋がっていきます。リサイクル回収量が増えれば、賃金(工賃)の向上にも繋がります。我々はこれを「基板事業」とよんでおります。

## 基板事業＝新しい常識づくり

# 有価物資源は
# 障がい者施設で再資源化される

障がいを持った方々が国内で基板事業を行う事で

- 有価物資源の海外流出を防止し
- 高品位の都市鉱山資源(レアメタル)が国内で循環
- 障がい者の雇用やお仕事創出に繋がり
- 障がい者の賃金(工賃)向上にも繋がる

つまり、障がい者施設での基板事業が、国内でのレアメタル循環型社会の形成だけではなく、障がい者の雇用促進等、「国益」に直結しております。

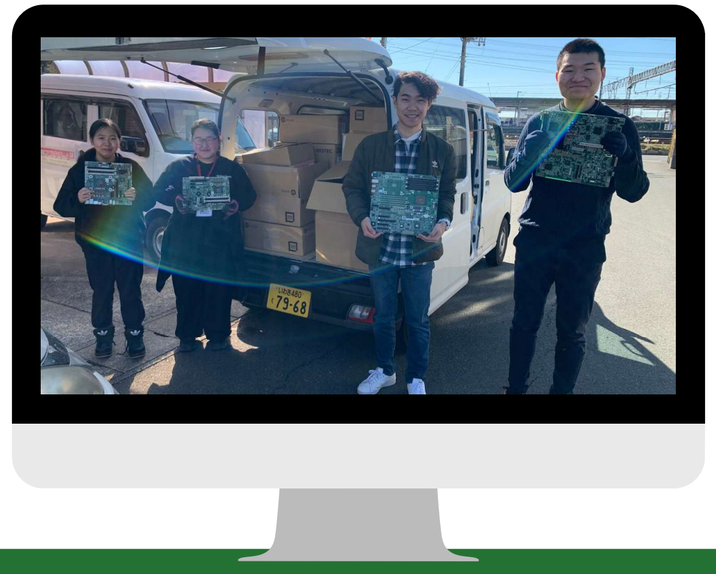
## 仕事確保と工賃向上

# 就労支援事業所に求められる仕事の確保と賃金(工賃)向上

障がい者施設での作業、特に施設内での作業の多くが低工賃での部品組み立てや検査等の内職となっています。

- B型事業所の全国平均工賃(時間額)222円(R3実績)
- A型事業所の作業売り上げにおける最賃達成事業所は全体の30%程度

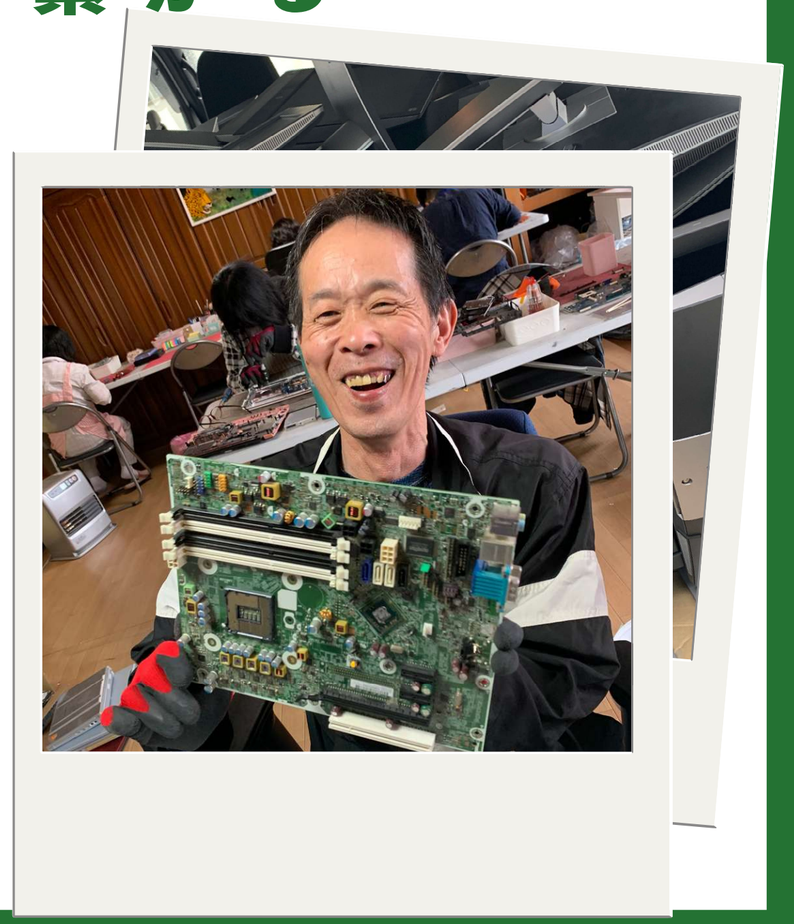
基板事業では、1台のPC解体から生まれる収益(500円～1,000円)を工賃や最賃達成に必要な作業売り上げに直結。安定した回収量が確保できれば、工賃向上や最賃達成に達成に必要な作業売り上げに大きく貢献できます。



## 働き甲斐＝生き甲斐

# 自治体や企業からの回収が安定した回収量と工賃の確保に繋がる

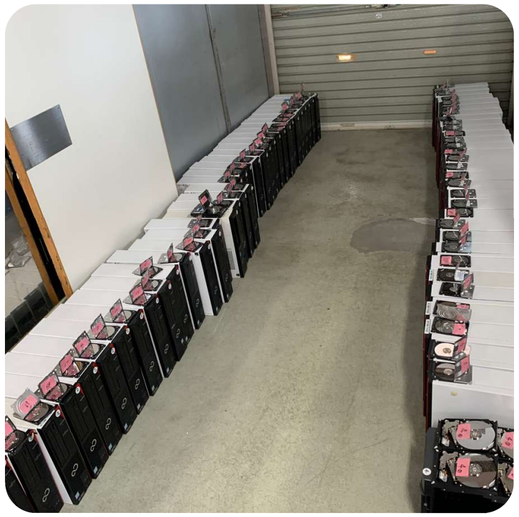
働く環境をしっかりと確保していく事。これは就労支援事業所が果たさなければいけない使命です。安定した作業があれば、毎日楽しく仕事が出来、更に、自分の稼いだお金で買い物が出来るようになります。即ち、社会の一員として自分の力で生活が出来る喜びは、社会の中で自信をもって生きるという「生き甲斐」に繋がっていきます。

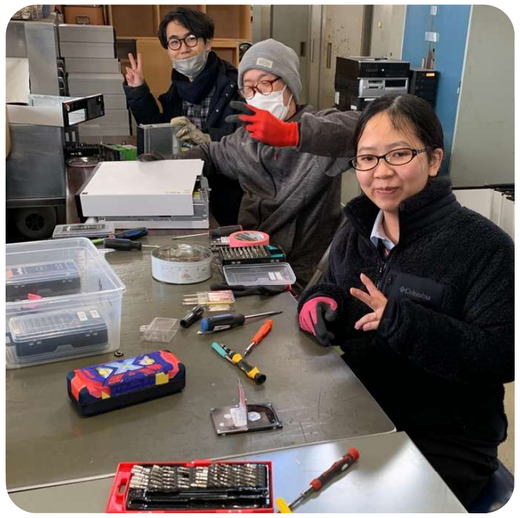


# 自治体回収実績・・・本宮市役所,鮫川村役場,平田村役場

# 自治体回収実績・・・大子町役場　出張解体

# 自治体回収実績・・・中島村役場 出張解体

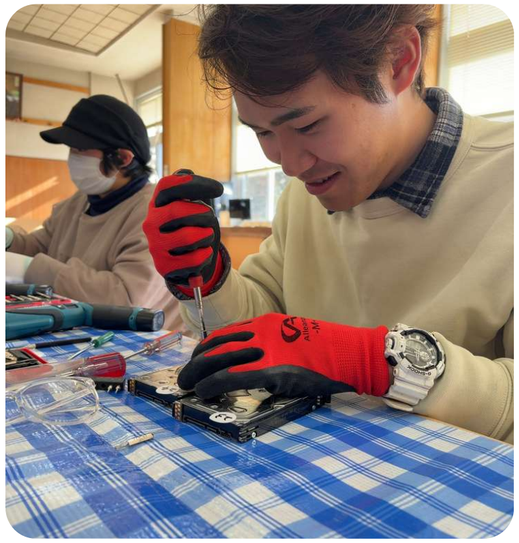




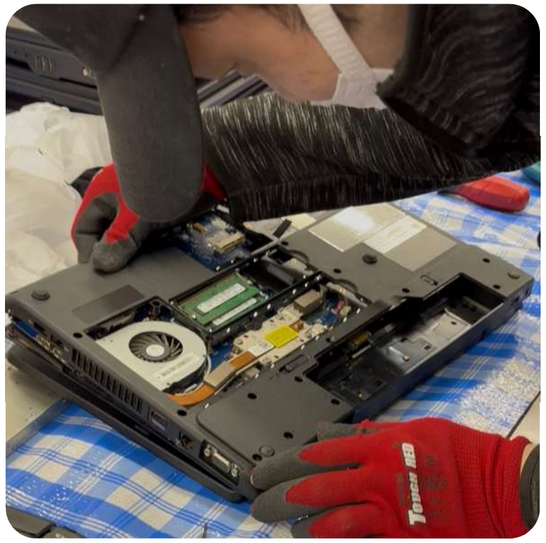
# 自治体回収実績・・・葛尾村役場

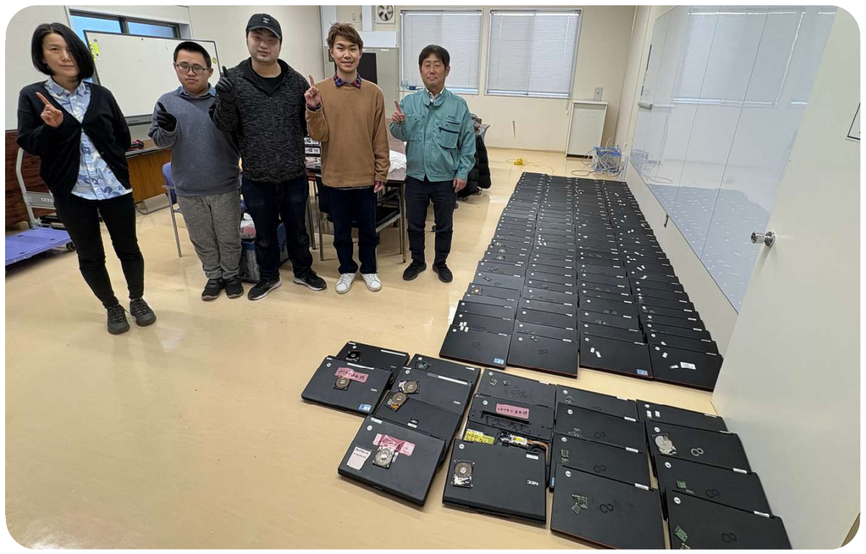
# 自治体回収実績・・・大洗町役場

# 自治体回収実績・・・矢祭町役場



# 自治体回収実績・・・いわき市水道局





## 自治体からの回収実績

### 自治体や企業への出張解体は地域社会や一般企業との接点となり社会参加の貴重な時間となっています

- 福島県　双葉町役場(調整中)
- 福島県　いわき市役所 情報政策課システム課(調整中)
- 福島県　いわき市役所 職員私物回収(2026年2月) ※障がい福祉課
- 福島県　いわき市水道局(2026年2月)
- 茨城県　古河市 西南消防本部 (2026年1月）※間接回収
- 福島県　矢祭町役場(2026年1月）
- 茨城県　大洗町役場(2025年11月)
- 福島県　鮫川村役場 2回目(2025年3月)
- 福島県　浪江町役場(2025年2月）
- 茨城県　北茨城市役所 2回目(2025年1月)
- 福島県　塙町役場（2025年1月)
- 茨城県　北茨城市役所 1回目(2024年6月)
- 福島県　葛尾村役場(2024年6月)
- 福島県　新地町役場(2024年6月)
- 福島県　福島労働局(2024年3月)
- 福島県　中島村役場
  中島村生涯学習課(2024年3月)
- 福島県　本宮市役所(2023年秋)
- 福島県　鮫川村役場 1回目(2023年夏)
- 福島県　平田村役場(2023年夏)
- 茨城県　大子町役場(2023年夏)　他